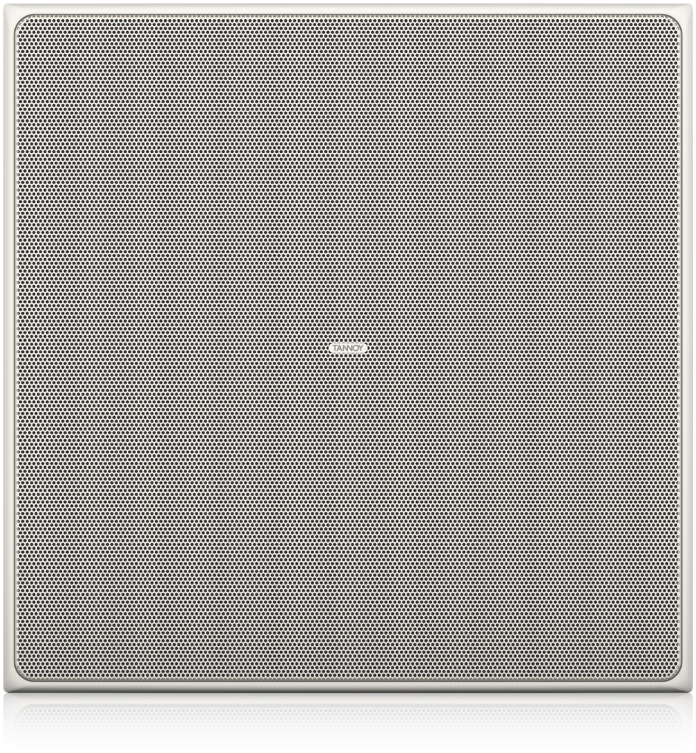
クイックスタートガイド

JP



PCI 45DC

Premium 3-way Dual Concentric In-Ceiling Loudspeaker for Installation Applications

V 1.0

TANNOY

JP

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

前書き

この Tannoy プレミアムデュアル同心ラウドスピーカーをインストールアプリケーション用にご購入いただきありがとうございます。Tannoy の天井埋め込み型スピーカーシステムは、高品質のキャビネットスピーカーとスタジオモニターの製造における同社の専門知識に基づいたモニター品質のスピーカーシステムです。独自のドライブユニット設計と広帯域幅テクノロジーにより、これらのスピーカーは、マルチルーム分散オーディオ設備、ホームシアターシステム、ディスクリートオーディオシステムなどのアプリケーションだけでなく、スペースがプレミアムでありながら究極の音質は依然として最優先事項です。スピーカーの構造は、優れた構造的完全性を備えた剛性成形された ABS バッフルをベースにしています。これは、安全なポリカーボネートクランプ取り付けシステム (特許出願日: 0316892.9) と組み合わせると、壁面とのパフォーマンスを向上させる剛性のある音響結合と、ドライバーが最適なパフォーマンスを提供するための非常に安定したプラットフォームを保証します。あらゆるスタイルの装飾を補完する、穴あき金属グリルと薄型の取り付けフレームは、家庭環境とシームレスに調和するように塗装することができます。その結果、居住空間への侵入を最小限に抑えたオーディオファン品質のサウンドを提供するシステムが実現しました。

開梱

すべての Tannoy 製品は、出荷前に注意深く検査されます。開梱後、輸送中に損傷が発生していないことを確認するために製品を検査してください。万が一損傷が発生した場合は、販売店に通知し、すべての配送資材を保管してください。販売店が返送を要求する場合があります。

安全上の注意

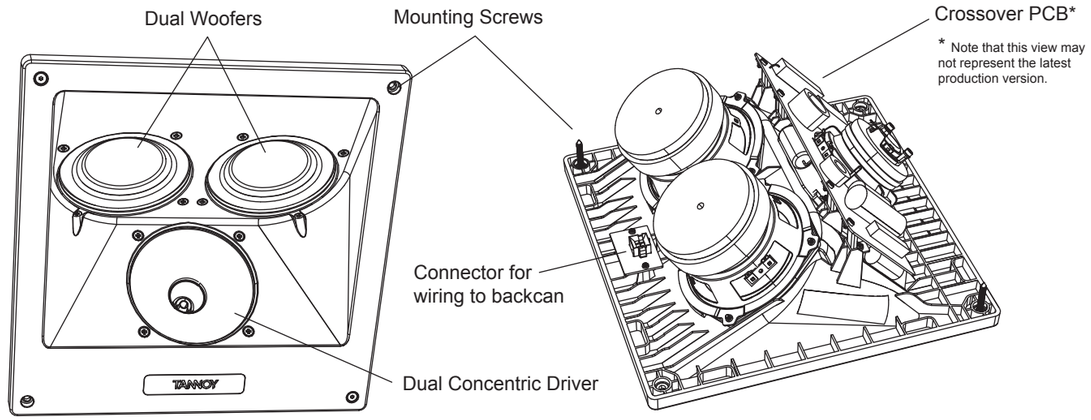
Tannoyは、これらのスピーカーの不適切な設置によって生じたいかなる損害についても責任を負いません。

JP

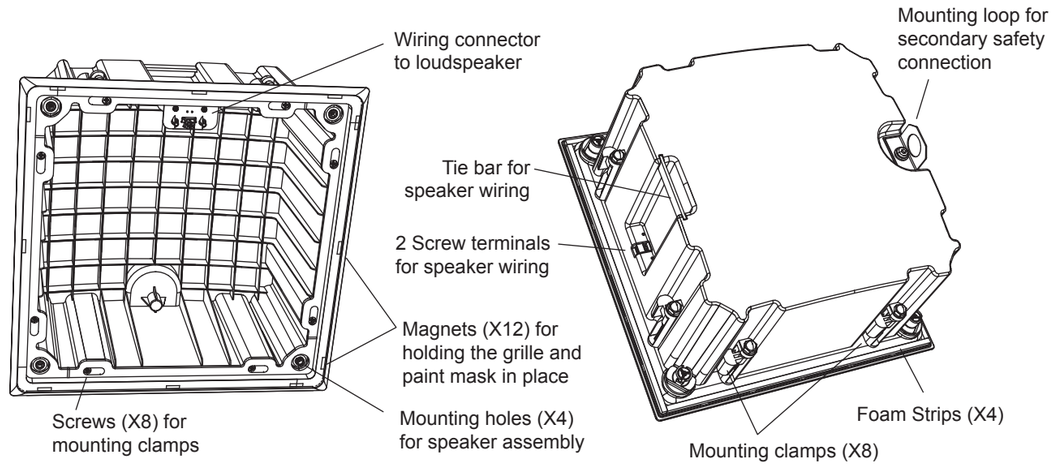
製品の機能の識別

PCI 45DC

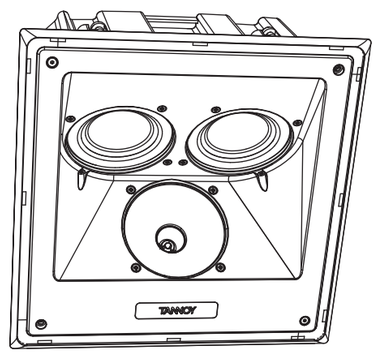
スピーカーアセンブリ



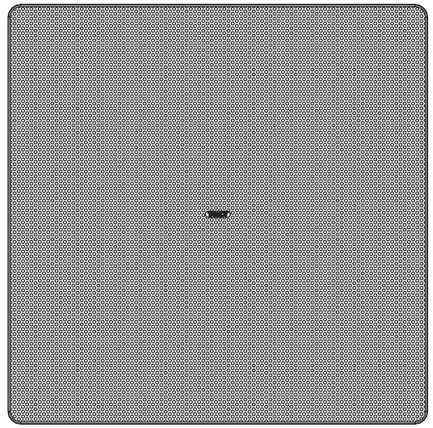
バック缶アセンブリ



スピーカーとバックは組み立てることができます



グリル

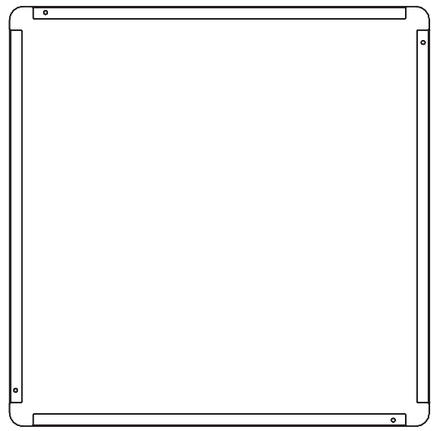


アコースティックフォーム

(これはパッケージに巻いて提供され、PCI 45DC バック缶の中に収まります)



ペイントマスク



PCI 45DC インストールガイド

PCI45DC バック缶の取り付け

警告: スピーカーへの潜在的な損傷を避けるために、ケーブルを接続または切断する前に、パワーアンプがオフになっていることを確認してください。

警告: 選択した場所に、電力線、他のケーブル、または上下水道、ガス管などの配管がないことを確認してください。

以下の手順では、乾式壁/石膏ボードがすでに取り付けられている、中心が 16 インチの一般的な 2" x 8" の根太天井への背面缶の取り付けについて説明します。

PCI 45DC バック缶を取り付けて配線した後、塗装と仕上げのためにペイントマスクを追加できます。スピーカーは後でバック缶に取り付けることができます。

手順

以下の手順を、表示されている順序で実行してください。開始する前に、すべての指示をお読みください。

1. スタッドファインダーを使用して、スピーカーに適した取り付け位置を見つけます。警告 : 選択した切り欠きの場所に、電力線、他のケーブル、または上下水道、ガス管などの配管がないことを確認してください。また、すべてのクランプ機構が干渉なしに動作できるように、場所が天井根太から十分に離れていることを確認してください。
2. 希望の場所に正方形を注意深くマークし、注意深く切り抜きます乾式壁/石膏ボードの穴。穴からほこりやごみを取り除きます (図 12)。
3. スピーカーワイヤーをアンプからこの場所まで配線し、接続に十分なたるみを残します (図 13)。
4. スピーカーアセンブリがすでにバック缶に取り付けられている場合 (輸送中など) 、スピーカーアセンブリを固定しているネジを外して、スピーカーアセンブリをバック缶から取り外します (図 14)。
5. バック缶内の成形フォームのブロックを取り外します。これは、輸送中にスピーカーを保護するために使用されます。
6. 音響フォームの正方形のシートがパッケージに付属しています。このフォームをバック缶の内側に取り付けます。(下の図にはフォームが表示されていないことに注意してください。)

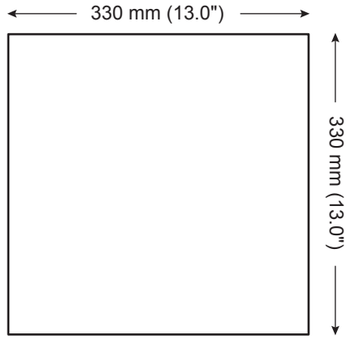


Fig. 12. PCI 45DC Cutout Dimensions

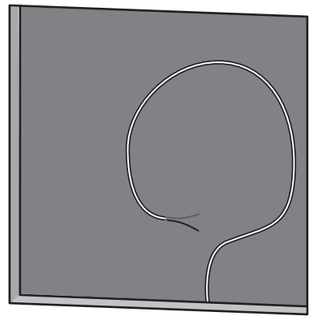


Fig. 13. Speaker Wire

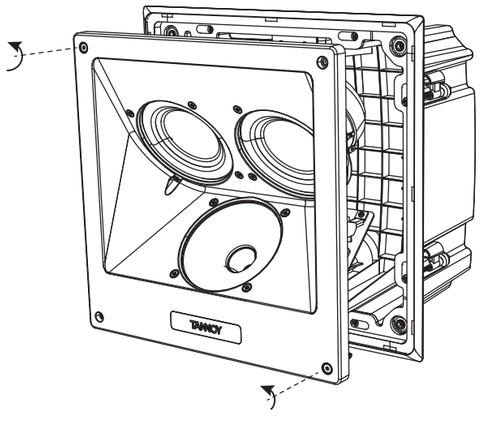


Fig. 14. Removing the loudspeaker from the back can

JP

バック缶の配線

警告: スピーカーへの潜在的な損傷を避けるために、ケーブルを接続または切断する前に、アンプのスイッチがオフになっていることを確認してください。

警告: アンプの電源を入れる前に、すべての接続が安全であり、極性が正しいことを再確認してください。

スピーカーワイヤーの接続は、背面缶の外側にある2つのネジ留め式端子に行われていることに注意してください。

12〜18 AWG の絶縁スピーカー配線の使用をお勧めします。

1. スピーカーケーブルの端を切り欠きの開口部から引き出し、各導体から外側の保護層を約 8 mm (¼") はぎ取ります。
2. アシスタントの助けを借りて、開口部の近くでバック缶を持ち上げます。
3. スピーカーケーブルは、背面缶のネジ留め式端子の近くのバーに巻き付けることができます (図 15)。
4. アンプからのプラス線は、バック缶のプラス端子に接続する必要があります。アンプからのマイナス線は、バック缶のマイナス端子に接続する必要があります。2 本の小さなネジを締めて両方のワイヤーを固定します。極性が正しく、配線がしっかりしていることを確認してください。
5. スピーカーケーブルが天井の根太に固定されていることを確認してください。これにより、操作中にスピーカーケーブルが動いたりガタガタしたりすることはありません。また、ケーブルが、絶縁を切断する可能性のあるネジや鋭利な金属エッジの近くにないことを確認してください。

バック缶の取り付け

1. 上記のように背面缶が正しく配線されたら、二次安全ケーブルを背面缶の背面にある金属製の取り付けループに接続します。二次安全ケーブルのもう一方の端は、天井の適切な強力な取り付けポイントに固定する必要があります (図16)。
2. 8 つのバック缶取り付けクランプが収納 (内側) 位置にある状態で、バック缶を乾式壁の開口部に押し込みます。スピーカーのワイヤーや指を挟まないように注意してください (図 17)。

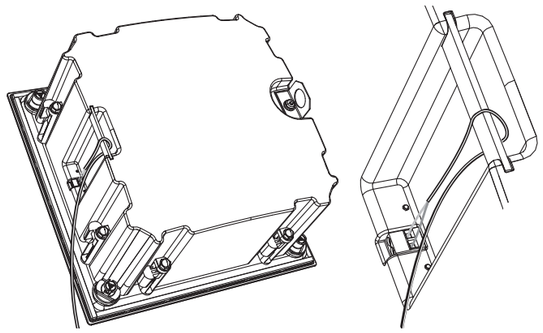


Fig. 15. Wiring the back can

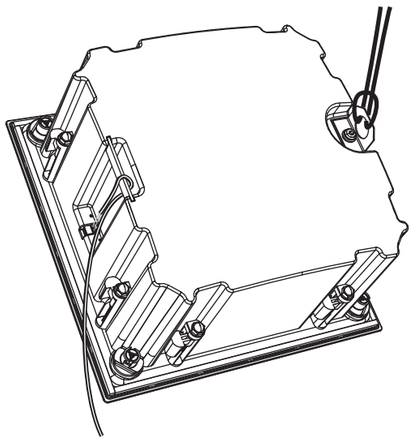


Fig. 16. Connecting the secondary safety to the back can

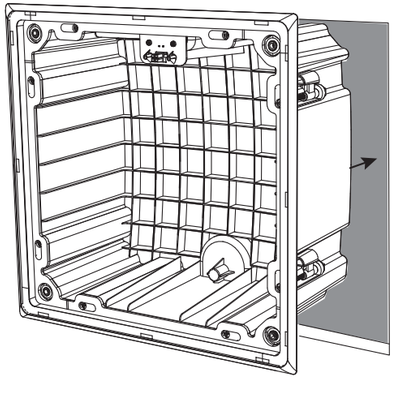


Fig. 17. Installing the back can

3. 取り付けクランプネジを時計回りに締めながら、バック缶を天井の所定の位置に保持します (図 18)。8 つのクランプすべてが所定の位置に配置され、背面を天井の乾式壁にしっかりと固定できるようになるまで、これを体系的に行います。

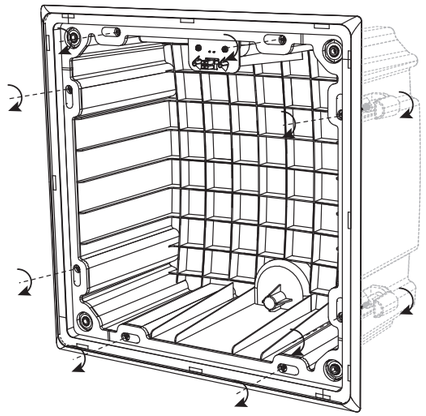


Fig. 18. Tighten the mounting clamp screws (X8)

ペインティング

1. バック缶をペンキ、ほこり、破片から保護するために、ペイントマスクが付属しています。バック缶を取り付けた後、天井を塗装して仕上げることができます。
2. ペイントマスクをバック缶の前面に押し込み、磁石で固定します。このマスクは、天井とフレームの周囲が塗装されている間、そのまま残されます (図 19)。
3. 穴の詰まりを防ぐため、金属製の穴あきグリルを個別にスプレーすることを強くお勧めします。ブラシでペイントすることが唯一のオプションである場合、ペイントを何回か薄く塗ると、厚く塗りすぎた場合よりも優れた仕上がりになります。

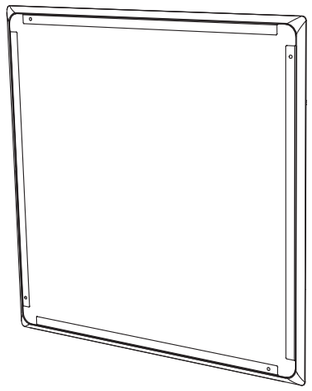


Fig. 19. Install the paint mask

スピーカーの取り付け

1. 後ろの缶からペンキマスクを外します。
2. スピーカーアセンブリは、1 つの方法でのみ背面缶に収まることに注意してください。スピーカーアセンブリの背面にあるコネクタは、背面缶の対応するコネクタと位置合わせする必要があります。
3. スピーカーをバック缶に取り付け、ネジで固定します (図 20)。

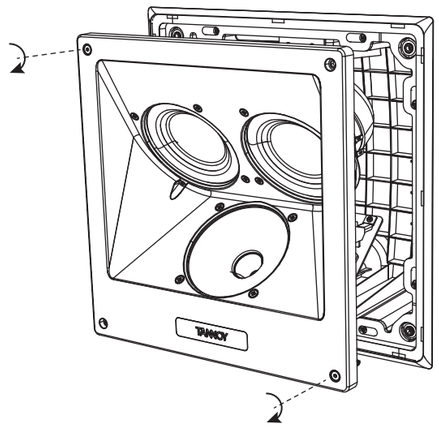


Fig. 20. Install the loudspeaker

JP

グリルの取り付け

1. グリルの端をバッフルとフレームの内側の端に注意深く合わせて、グリルを慎重に取り付ける必要があります (図 21)。くぼみの損傷を避けるために、グリルの中央を押さないでください。所定の位置にしっかりと押し付けられているときに、各コーナーに均等な圧力をかけます。
2. グリルを取り外すには、開いたペーパークリップまたは同様の長さの硬いワイヤーを角の近くの 2 つの穴に通し、静かに引っ張ります。グリルはぴったりとフィットするように設計されているため、メッシュの歪みを避けるために慎重に引っ張って、各コーナーにワイヤーを順番に挿入します。

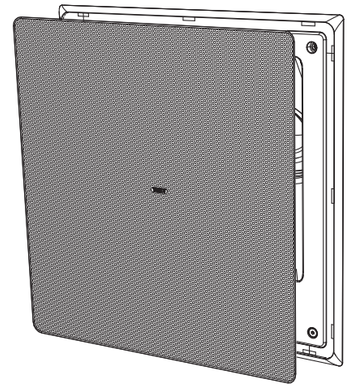


Fig. 21. Install the grille

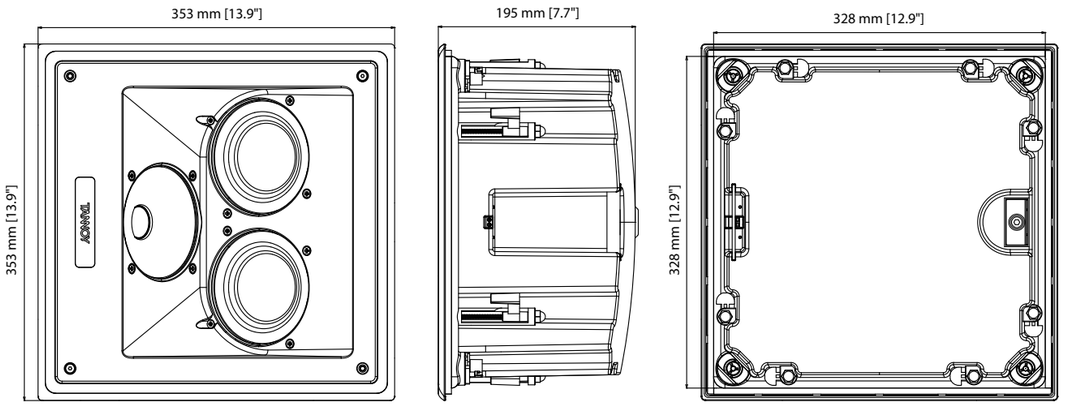
システムテスト

1. ボリュームコントロールを最低に設定してアンプの電源を入れます。適切な信号源を選択し、ゆっくりと音量を下げます。スピーカーが正しく機能し、同相であることを確認します。そうでない場合は、アンプの電源を切り、接続を再確認します。
2. 設備の周囲を注意深くチェックし、注意深く耳を傾けて、システムの楽しみを損なう可能性のあるうなりやガタガタがないことを確認します。ある場合は、ケーブルタイまたは適切な梱包材を使用して原因を特定し、沈黙させます。

JP

寸法

PCI 45DC



JP

技術仕様

	PCI 45DC
パフォーマンス	
周波数応答 (±3 dB)	100 Hz ～ 20 kHz
周波数応答 (-10 dB)	60 Hz ～ 20 kHz
感度 (1 W @ 1m)	90 dB
指向性係数 (Q)	6.3 平均 1 kHz ～ 10 kHz
指向性指数 (DI)	8 平均 1kHz ～ 10 kHz
パワーハンドリング (IEC)	
平均	70 W
プログラム	140 W
ピーク	280 W
推奨アンプパワー	210 W @ 8 Ω
公称インピーダンス (Lo Z)	8 Ω
最大定格 SPL (1 m, Lo Z)	
平均	108 dB
ピーク	114 dB
変圧器の蛇口	NA
クロスオーバーポイント	750 Hz / 2.1 kHz
カバレッジ角度	
500 Hz	156° 水平, 167° 垂直
1 kHz	81° 水平, 101° 垂直
2 kHz	145° 水平, 138° 垂直
4 kHz	123° 水平, 120° 垂直
トランスデューサー	
低周波径 / 材質 / タイプ	2 x 126 mm (5") / 1 x 118.5 mm (4.5")
高周波直径 / 材料 / タイプ	20.4 mm (0.8")
物理的	
エンクロージャー	
バック缶	プラスチック、スプレー付き
バッフル	反射負荷 UL94V-0 定格 ABS
グリル	スチール、耐候性コーティング付き
安全機能	安全ループ付き
クランプ設計	セキュリティトグルクランプ
コネクタ	フェニックスコンタクト端子台
寸法 (高さ x 幅 x 深さ)	353 x 353 x 199 mm (13.9 x 13.9 x 7.8")
ベゼルの寸法	353x353mm (13.9"x13.9")
取付深さ	188 mm (7.4")
穴の切り欠き寸法	330.2 x 330.2 mm(13.0"x13.0")
正味重量	7.7 kg (16.9 lbs)
梱包数量	1
付属のアクセサリー	グリル、ペイントマスク、ツールキット、ネジ、平ワッシャー

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。